



【本年度の重点目標】

めあてに向かって主体的に努力する子どもの育成
(根気強く あきらめないで)

子どもたち元気です

6月も中旬になってきましたが、今年は雨が少ないですね。

我が家は米を2反半ほど作っています。例年だったらもう田植えが終わっている時期ですが、今年は水不足で半分ほどしか田植えが出来ていません。残りは荒代も開いていない状況です。今週も雨があまり降らないようで、いつ田植えが出来るか多少不安に思っています。星野村も水不足のところもあるのではないのでしょうか？このような状況で、雨が降らないか心待ちしているところですが、豪雨は困ります。

7年前の豪雨を体験すると、大雨の恐ろしさがよく分かります。あんな雨はもうこりごりです。ほどよい雨が降ってくれることを願っています。

子どもたちは、とっても元気です。休み時間は、暑さにも負けずに、朝の目覚まし活動や休み時間は、多くの子どもたちが外で遊んでいます。元気に遊ぶ「星のっ子」を見るとうれしくなります。子どもは、遊びを通して心身とも成長します。ちなみに4月5月の出席率も99%以上です。

しかし、熱中症には十分な注意が必要です。今からさらに暑さが厳しくなりますので、今まで以上に予防や指導をしていきます。

以下の写真は、昼休みの運動場の景色です。



お知らせ・お願い

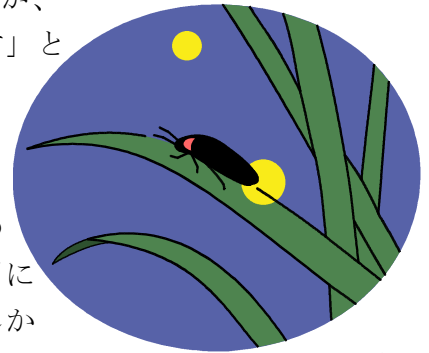
○ 6月5日（水）の午後3時30分にPTAの学年委員会が行われました。午後3時30分と聞いて「まだ、学校は授業が行われているのではないかと不思議に思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか？実は、最初私も「あれ」と思い、時間が間違っているのではないかと尋ねてみると、学校における働き方改革（業務負担の軽減）のためにということでした。

今までPTA関係の話し合いは、夜にあるものだとばかり思っていましたので、こういう発想があるのだと感心しました。学級委員長さんを初め、委員のみなさんには、昼間の話し合いで無理をさせていただいた方もいらっしゃると思います。ありがとうございます。PTAのみなさまのお心遣いに感謝いたします。

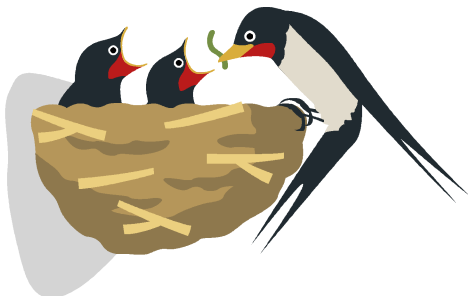
○ 前々回の学校通信 No.59 にホタルのことを載せていましたが、ある児童が「星野川の土穴の橋の所にほたるがたくさんいます」と教えてくれました。そこで、6月4日の帰りに見に行くとたくさんのホタルが飛んでいて、感動しました。

「教えてくれてありがとう。」

笠原川にホタルを見に行ったのは5月の20日過ぎだったので、時期が早かったのかもしれないと思い、そのまま、笠原川にもホタルを見に行きました。そしたら、残念ながら1～2匹しか飛んでいません。やっぱりホタルはいないのかなともう一カ所見に行くと、そこには以前ほどではありませんが、たくさんのホタルが飛んでいました。とてもうれしく幸せな気分で帰宅できました。笠原川にも少しずつホタルが戻ってきているのですね。この自然の美しさをいつまでも残しておきたいと思ったしだいです。



ツバメについて



○ 我が家（車庫）には、今ツバメが三カ所ほど巣を作り、子育て真っ最中です。しかし、車の上に巣を作っているのでフンが車に落ちて大変です。段ボールを車の上に載せてはいるのですが、完全に防ぐことはできないでいます。そんなツバメのことを調べましたので紹介します。

ツバメは春先になると南の国から日本の国へ渡ってきます。日本の国で卵を生みヒナを育てるためです。ツバメは日本に着くとすぐ巣を造り卵を生んで、約四十日間の中に2回にわたって八羽のヒナを育てあげます。そして、およそ二百日間ほど日本に住んでいるそうですが、食べ物は虫です。

一羽のツバメは一日に百五十匹から二百匹近い数の虫をとっているようです。いま、百六十匹として計算すると、一羽の親ツバメは三万二千匹の虫をとることになります。

今、我が家には多くのツバメがいますが、フンを落とすやっかいものではなく、カヤハエをとってくれる益鳥なのですね。カメムシも食べてくれたらいいのですがどうでしょう？